

暮らしを楽しむ一生もの教えます

2010年1月10日発行(毎月1日・10日発行)第11巻第2号(通巻第122号) 2000年3月28日(第3号)創刊

Takt 2

TOYAMA
LIFE STYLE
MAGAZINE
2010No.122
400yen

タクト

cap

暮らしの道具 ずっと大切にしたい

冬は美味しい味覚で
あつたまろう！
シヨップの目玉商品
冬に差がつく
キレイの秘訣

富山県内の飲食情報満載!!
Taktのインターネットサイト
「グルメやまほ」はこちら
<http://gourmet-toyama.net/>



地元の民藝品店を紹介します

軒数は多くありませんが、富山にも素敵な民藝品店があります。
その目でよさを確かめに、ぜひ足を運んでみてください。



工藝まこと

「工藝まこと」は「民藝品はなぜ美しいか」ということを教えてくれる場所。美度や使い勝手のよさなど、長い歴史の中で不要なものが淘汰され、同じものも大量に作る中で生まれてきた職人の技の美しさを感じさせる経験が多い。日本各地や韓国の釜山まで作られた器があり、ご主人の松村さんのセンスのよさを随所に見取れる。

富山市八尾町1454-1 TEL076-454-2533
10:00-18:00 要予約 包あり



松村さんは「手仕事は人間の発達と結び合っているが、器の美観も優れて、ものも集めている。いいものも集めれば、いろんな人間関係が生まれて楽しい」と話す。



奥敷で作られているノッティングの椅子脚きや、富山県のガラス作家が作る手ごろな使用の取っ手ガラスなど、温かみを感じさせる作品が多い。



林シヨップ

昨年(きくち民芸店)の後も引き続き、総曲輪にオープン。民藝品だけでなく、工業製品や高岡製器など、多ジャンルで「良いもの」を集めている。民藝品の仕入れ先には「きくち民芸店」から引き継いだ場所も。若いオーナーらしい温心のあるアイテムもあるので、暮らしを彩る雑貨やインテリア厚しにออกไปてみては。

富山市東条2-7-12 TEL076-492-4006 10:00-19:00
要予約 包あり



どの作品も、ご自身が直接自分の目で見て買って付いている。山崎や山崎、富山地方の作家のものを中心に取り扱っている。



きくち民芸店

富山にまだ民藝店がなかった42年前にいつも美しいものに携って生活をしていきたいという想いで開いた総曲輪の店を昨年で閉め、自宅の一角で始めたお店。「同じものづくりをしている人でも、コンセプトのしっかりしている作家の作品を置いている」と話す。民藝品が集まる田舎の作家が手がけたものが多い。

富山市東条2575-20 TEL076-492-4006 10:00-19:00 要予約
包あり 予約の取付けが早いので、事前に電話で予約のお願いを



セレクトショップに

富山・総曲輪で林さん 高岡銅器も扱う



富山・総曲輪で林さん 高岡銅器も扱う
林さん

民芸品店 Uターン青年 引き継ぐ

富山市総曲輪の丁目で40年以上営業し、昨年7月末に移転した民芸品店が、東京からUターンした岡山市出身の青年によって旧店舗を継ぐ店として引き継がれ、このほど開業した。旧店で扱ってきた陶器などのほか、男性が制作した高岡銅器の作品もそろえた日用品のセレクトショップとして新店オープンし、古くからのなじみ客を喜ばせている。

店を引き継いだのは高岡。富山に戻り、制作活動と店の経営を両立させることになった。
(30)富山市で、9日 移転した民芸品店は「林ショップ」を創業した。店主は「林さん」。店主は富山県高岡市出身の銅器職人(67)に由来する。42年前、県内で最初にできた民芸品店であった。現在は岡山市岡野町に移り、以前から継業してある隣接のレストランとともに営業を続けてい

創作活動と経営両立

林さんは自身も民芸品に対する関心が深く、親子2人の影響で美大に進んだこともあって「閉店するのには忍びない」と決意を固めていた。林ショップでは、高岡銅器から引き継いだ仕入れ先の商品や、林さんが制作した高岡銅器のえとの備物なども並べている。

林さんは「民芸品が並ぶ店として引き継いでもらえたのはうれしく」と開店を喜び、林さんは「今後は、幅広い分野の作品展も開いていきたい」と意気込んでいく。

west

にし

ひがし

east



住 所 富山市総曲輪2丁目7-12

営業時間 10AM~7PM

定休日 火曜日と水曜日

電 話 076-424-5330